

姉妹都市

— 世界をつなぐ笑顔と勇気 —

No.25
2019.12



友情の門にて



民族音楽体験



Tシャツづくり



稲敷たから音頭

身近な国際交流を体験できる **絶好のチャンス**です！

ホストファミリーの募集について

- 令和2年3月23日(月)から30日(月)まで、カナダ・サーモンアーム市訪問団が稲敷市へ来訪します。
 - 中学生～大学生までの子どもたちをホームステイさせていただける「ホストファミリー」を募集します。(同年代の方にメインホストとなっていただきます。)
 - 受入れに際しては、特別な個室やベッド、洋食等を用意する必要はありません。
- 【問合せ・申込は 市民協働課まで TEL029-892-2000 (代)】

英語が話せなくても大丈夫！



稲敷 いなのすけ

◎姉妹都市交流事業(海外派遣・受入)の詳細は稲敷市ホームページ

<http://www.city.inashiki.lg.jp/index.html> (目的別→市政→プロフィール→姉妹都市・国際交流事業)

●稲敷市・稲敷市姉妹都市交流委員会●

第11回稲敷市親善大使海外派遣団 団長

稲敷市立沼里小学校 校長 内藤 信

中国の故事成句の一つに『飲水思源』という言葉があります。「水を飲む者はその源に思いを致せ」。言い換えると「井戸の水を飲む際は、最初に井戸を掘った人の苦勞を思え」という意味だそうです。今回の派遣訪問中にシャスワップ湖の畔にそびえ立つ「成毛平昌メモリアルツリー」を目の当たりにした時に、この『飲水思源』を思い起こしました。

時代は令和に移りましたが、故成毛平昌氏（旧東村長）の「子どもたちに国際感覚を！」という教えが、30有余年を過ぎた現在もまざまざと受け継がれていることに感銘を覚えています。このサーモンアームへの派遣は私自身、自分を見つめ直す貴重な体験となりました。市当局や姉妹都市交流委員会の皆様に感謝申し上げます。



《アラン・ハリソン市長とともに》

ずっとつながっていこう

—第11回 稲敷市親善大使海外派遣事業に参加して—

派遣期間：令和元年8月16日（金）～8月26日（月）

第11回派遣団名簿

団 長	内藤 信	（稲敷市立沼里小学校 校長）
指 導 員	幸田 裕子	（稲敷市立新利根小学校 教諭）
指 導 員	根本 礼子	（稲敷市姉妹都市交流委員会 理事）
団 員	渡辺 和也	（高3） 椎名 澤衣（高2） 友田 輪（高2）
	田谷 陽織	（中3） 塚本未来也（中3） 池邊 七菜（中2）
	小泉 優希	（中2） 進藤 楓日（中2） 市川 陽翔（中2）
	小貴 真那	（中2） 根本 聖己（中2） 村山 汀（中2）
	高城あかり	（中2） 宮本 舞（中1） 馬場 悠成（中1）
	酒井 綿花	（中1） 清水 蘭愛（中1） 新里 脩真（中1）
	市川 瑛翔	（中1）
事 務 局	宮詰 勝	（稲敷市市民協働課 係長）

期間中の主なスケジュール

- ・対面式
- ・ホストファミリーとの交流
- ・「友情の門」見学
- ・サーモンアーム市長表敬訪問
- ・中学校で創作体験
- ・各種アクティビティ
ラフティング等
- ・さよならパーティー
- ・レイクルーズ、バンフ観光

派遣団員のアンケート結果（抜粋）

Q. 派遣事業に参加して感じたことなど

- ◎事前研修から楽しむことができた。カナダと日本の生活様式の違いや、親善大使の心構えを教えてくれたので、心配することなくカナダへ行くことができた。
- ◎初めての海外だったので、とても良い経験ができた。
- ◎ホストファミリーがとても優しくった。理解できるように英語を話してくれ、一生懸命話すと聞き取ろうとしてくれた。
- ◎和英辞書をたくさん使った。

Q. 特によく使った英語は？

- ◎Sure・OK・Yeh（いいよ、分かった 等）
- ◎How was ～（〇〇はどうだった？）
- ◎Can I ～（〇〇してもいいですか？）
- ◎Can I help you?（何か手伝いますか？）
- ◎What's your recommendation.（おすすめは何ですか？）
- ◎I'm happy.（嬉しいです）
- ◎Thank you for dinner.（夕食をありがとう）
- *カナダでは「ごちそうさま」を言う習慣が無いので、その代わりに・・・



クッキー作り



市長表敬訪問



水上アクティビティ



さよならパーティー



ボウ滝



アーチェリー



先住民族の家



別れの時

江戸崎中学校 2年 市川陽翔

カナダに行く前は、英語でコミュニケーションがとれるかな、ホームステイ先の家に馴染めなかったらどうしようという思いと、カナダの異文化に触れたい、たくさん友達を作りたいという思い、不安と期待が入り混じっていました。しかし、対面式の時に、メインホストのディランの笑顔を見た瞬間に不安が吹き飛びました。これからは、もっと英語の勉強をして、特にリスニング力を上げて、またカナダにホームステイしたいです。このような機会を頂けた事で、カナダの文化や家族の大切さ、言葉の大切さが分かりました。忘れられないこの経験を今後に生かしていきたいです。ずっと心に残るサーモンアームの滞在でした。本当にありがとうございました。

新利根中学校 1年 宮本 舞

「WOW!」それがどこへ行っても私の口ぐせでした。カナダの景色、人の様子、建物全てが見たことのないもの。私にとっては行くところ全てが大きくなり箱みたくでした。私がカナダで一番学び、影響を受けたことは「伝える」ということと友情の大切さです。その学びの扉はホストファミリーと対面したときに開かれました。サーモンアームでは、充実した毎日を過ごすことができました。私はたくさんの人にお世話になり、たくさんの人の温かさに触れました。いろいろな人からもらった温かさを今度は自分が返せる人になりたいです。そして、今回学んだり感じたりしたことを大切にしていきたいです。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

東中学校 2年 根本聖己

今回、サーモンアームに行けることになって嬉しいと思う反面、ホームステイをするということに少し抵抗がありました。理由は、異国の地で1週間ホストファミリーとうまくコミュニケーションがとれるか不安だったからです。しかし、その不安を忘れるぐらいサーモンアームでの毎日は貴重な体験でした。一日の中でたくさんの経験をしたり、体験をすることができたので、充実した日々を送ることができました。今回このホームステイを経験したことで、世界の広さや異なる文化に触れる事ができて本当に良かったです。カナダに行くことを勧めてくれた母親やお世話になったホストファミリー、この事業の関係者の皆様、本当にありがとうございました。

稲敷市姉妹都市交流委員会懇談会

9月29日（日）に、親善大使海外派遣団員と保護者の皆様との懇談会を開催しました。保護者の皆様からは「今回の派遣事業に参加した経験が、今後の人生の自信につながると思う。」「いろいろな体験をさせていただき感動している。今後もこの事業を続けてほしい。」などの声をいただきました。



「参加してよかった」という声が聞ける事業に

稲敷市姉妹都市交流委員会

会長 石井 道朗

隔年実施の稲敷市親善大使海外派遣事業（以下「派遣事業」）、サーモンアーム市親善訪問団受入事業（以下「受入事業」）が実施されます。本会では、引き続きこれらの事業に対し、会員全員で協力し、支援していききたいと思います。

さて、今年8月、第11回派遣事業が実施されました。団員19人と指導員4人、合計23人の派遣団となりました。特に今回、市当局のご理解により、長年の念願でもありました担当部署の職員の派遣が実現できました。このことは、今後、派遣団員の安全・安心の確保そして事業の継続・発展のためには、欠くことのできない貴重な現状視察になりました。この視察で得たノウハウを今後の事業の運営にさらに生かせるよう支援していききたいと思います。

最近、派遣・受入事業をしていて特に感じることは、参加者の事業に対する取り組む姿勢が年々積極的になっているような気がします。（派遣・受入後のアンケートより）皆様方のこの事業に対するご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

当委員会としても引き続き、発案者の思いと団員の安全・安心を基調とし、派遣・受入事業に「参加してよかった」という声がたくさん聴けるように、これらの事業を支援して参りたいと思います。



姉妹都市交流委員会の活動

姉妹都市交流委員会は、市が実施する姉妹都市交流事業を支援する組織として活動している団体です。

8月の稲敷市親善大使海外派遣事業では、交流委員会の会員が講師となり、姉妹都市交流の歴史や英会話など、派遣団員の事前研修を実施しました。

今後とも、市と協力しながら、両市の友好親善の仲介役としての役割を果たせるよう、努めてまいります。

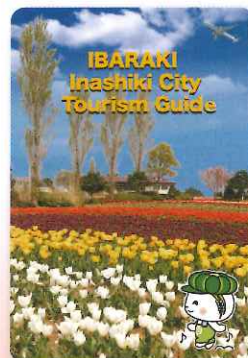


稲敷市観光ガイドブック英語版を作成しました！

姉妹都市交流委員会会員が、稲敷市観光ガイドブックの英訳作業に協力しました。

稲敷市の良いところを、海外の方にも知ってもらえる機会となることを願っています。

※ガイドブックは市内公共施設に配置しています。



INFORMATION

会員募集！あなたも国際交流しませんか？

稲敷市姉妹都市交流委員会

親善大使海外派遣事業や親善訪問団受入事業など、稲敷市が実施する姉妹都市（サーモンアーム市）との幅広い活動

に協力し、交流活動を展開しています。

問合せ・申込は
市民協働課内事務局：
029-892-2000(代) まで

○姉妹都市交流事業の詳細は
稲敷市ホームページをご覧ください

稲敷市 姉妹都市交流 検索



親善大使海外派遣事業及び親善訪問団受入の日程について

	派遣	受入
元年度	R 元年8月 実施済	R 2年3月 予定
2年度	なし	なし
3年度	R 3年8月 予定	R 4年3月 予定
4年度	なし	なし

※派遣事業における個人負担について

親善大使海外派遣事業の派遣費用は、概ね30万円です。派遣費用の半分（上限額15万円）は稲敷市より補助されますので、実質約15万円程度の個人負担となります。

編集後記

限りある写真の中で、この派遣事業の感動がどのくらい伝えられたのでしょうか。毎回の事です、心配でなりません。しかし、団員の心の中には、写真だけでは表せられない、感動や友情がしっかりと刻まれていることでしょう。今回生まれた友情や絆が、次の学年の絆や友情へとつながっていくこと、今回生まれた感動や新たな目標の蕾が、次の時代に花開くことを、心から期待しています。

編集：稲敷市姉妹都市交流委員会広報委員・稲敷市 市民協働課

交流委員会広報委員

山本 彰治（委員長）、塚本 みち子（委員）、倉田 九豪（委員）